

信心獲得すというは、第十八の願をこころうるなり。この願をこころうるというは、南無阿弥陀仏のすがたをこころうるなり。このゆえに、南無と帰命する一念の処に、発願回向のこころあるべし。これすなわち弥陀如来の、凡夫に回向しますところなり。これを『大経』には「令諸衆生功德成就」ととけり。されば無始已來つくりとつくる悪業煩惱を、のこるところもなく、願力不思議をもつて消滅するいわれあるがゆえに、正定聚不退のくらいに住すとなり。これによりて、煩惱を断ぜずして涅槃をうといえるは、このこころなり。此の義は当流一途の所談なるものなり。他流の人に対しても、かくのじとく沙汰あるべからざる所なり。能く能くこううべきものなり。あなかしこ、あなかしこ。

御文をいただく 其の五〇

五帖目第五通⑩



開催日 10月31日(火)午後2時より11月1日(水)午後4時まで
講師 松井勇さん(南砺市)
毎年毎年、絶えることなく勤められてきたホンコハーンが勤めらてきた歴史の流れに乗りませんか?
※10月31日夜 おやこのつといByほんこさん をつとめます

後段の「此の義は当流一途の所談なるものなり。他流の人に対して、かくのごとく沙汰あるべからざる所なり。」の文章をいつも読んでいて思わせていたのは、浄土真宗において念仏一筋と選ばれてきただけの宗派がある中で自分が正しい、これが正しい、これは間違っているという正偽をあきらかにしていつて念仏一筋と選ばれてきただけの宗派がある中で自分が正しいばかり主張していくと争いごとなつてしまつていうことです。

私たちはどうも正しいといふことに依存するといつの間にか偽なるものを排除していくたり、私から見て偽を主張する人に対して攻撃してしまうことがあるようです。日本の仏教には数え切れないくらいの宗派があると言っています。それ

【お知らせ】
お寺の横にある畑に銀杏の木があります。10月になると実が徐々に実りだし墜ちていきます。
そこで皆様にお裾分け、
自宅で食べられる分に限り銀杏をご自由に拾っていってください。
(お寺に声をかける必要もありません)

どんなふうに私たちの先輩方は選んでこられたのでしょうか?訪ねてみる必要があります。

*ほんこーほんつとまりまつす

はお釈迦さまのどのことなど

どの經典を中心にして考えていくかという歩みの中で多くの宗派が生まれてきたことでしょう。数え切れなものなり。

だけの宗派がある中で自分が正しいばかり主張していくと争いごとなつてしまつていうことです。
戦争放棄と憲法にうたつてあつて他国と争うことを使をあきらかにしていつての選びではなかつたんだろうなつていうことです。
わなくとも国内でいろんな争いごとが増えてしまいます。そうなつてしまつて悲しいことになつてしまつます。お互いを認め合うことが大事なのでしょう。正しい間違えの選びではいけないことなのでしょう。さて、私たちは大切なことを選ぶときどんなふうに選べばよいのでしょうか?

